

2022.7.9

◎近況と次回ジュエリー文化史研究会開催(9月10日)のお知らせ

露木 宏

お久しぶりです。

何かと予期しないことが起きますが、皆様、いかがお過ごしですか。

私は現在、来年5月頃出版予定の「広告で見る宝飾装身具史」(仮題)のまとめ作業をしています。明治～昭和戦時体制期までの収集した広告から小売店広告を中心に、重要なもの600点を選び、解説を加えて紹介した本になります。

同時に最近、中島朋子さんの研究論文(「大正期を代表する装身具製造業者」)に啓発されて、近代の製造業者にポイントを絞った論考をまとめています。これは前に研究会で連載していた『近代日本の宝飾文化史』の最後の5章に該当する部分で8月から2～3ヵ月に1回位のペースで連載(不定期連載)していきます。第1回目の「村松万三郎—村松関連工場と村松合資会社」は8月上旬にUPします。

○これをテキストとして使い、9月10日(土)14:00～16:00にしばらくぶりの研究会を開きます。

○また11月には新たに幹事に加わっていただいた岩崎さんのセミナーを開きます。内容、開催日については決まり次第お知らせします。

その他のお知らせ

○運営メンバー(宮坂さん、岩崎さん)には、新たに大場よう子さん(日本宝飾クラフト学院)にも 監事として加わっていただきました。会の名称変更も議題にあがっていますが、しばらくはこのままでいきます。

○今後の各研究会ゼミはグループ分けはしないで、できれば1回で行ないます。参加希望者は早めにお申し込みください。

○研究会参加費は1回2,500円、年会費は、しばらくは不要です。

○従来のハンドリング形式のゼミは、コロナの終息を見計らってから考えます。

以上、よろしく申し上げます。

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>